

太平洋島嶼国と気候変動問題 ～適応能力の向上に向けた教育と国際協力の可能性～

温暖化の影響を受けやすいと言われる太平洋島嶼国では、様々な環境変化への「適応能力」を強化することが急務です。立教大学ESD研究センターでは、太平洋島嶼国の適応能力構築に重要な役割を果たしうる「教育」と「国際協力」をテーマに、日本及び海外から政策立案者・研究者・実践者を集め、一般の方々や研究者・実践者を対象に、国際シンポジウムを開催します。皆様のお越しをお待ちしております。

日時・場所

立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階
2009年1月18日（日）13:00～17:00

プログラム（敬称略）

I. 気候変動、適応と教育

阿部 治 立教大学ESD研究センター
久保田 泉 国立環境研究所
野村 康 立教大学ESD研究センター

II. 南太平洋地域の取り組み

Taito Nakalevu 南太平洋地域環境計画（SPREP）
Sainivalati Navoku WWFフィジー
Aliti Koroi 南太平洋大学・環境と持続可能な開発のための太平洋センター（PACE-SD）

III. 日本の取り組み

竹本 和彦 環境省地球環境審議官
馬場 繁幸 琉球大学熱帯生物圏研究センター

IV. パネルディスカッション

座 長：阿部 治（立教大学）
パネリスト：上記発表者
三次 啓都 国際協力機構（JICA）地球環境部
海外からの発表者のお話には、同時通訳が入ります。

主催・後援

主催：立教大学ESD研究センター
後援（予定）：環境省

参加申し込み

お申し込みはメールかFaxにて、「1月18日国際シンポジウム参加申し込み」と明記の上、御氏名・御所属・御連絡先（メールか電話番号）を、当センターまでご連絡下さい。

立教大学ESD研究センター

〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 ミッチェル館別棟1階

TEL&FAX：03-3985-2686

E-mail：esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

Website：http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/index.html

